

【東大和市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

子どもたちが理解度や認知の特性に応じて自分のペースで学んだり、異なる方法で学んだり、興味関心に基づく個別の課題に取り組んだりする個別最適な学びや、子ども同士や地域の方々など、多様な他者との協働的な学びの充実を図る。

また、教室になじめない子どもなどが教室以外でも学ぶことができるよう環境の整備に努める。

2. GIGA第1期の総括

GIGA第1期において、1人1台端末を活用し、児童・生徒が情報を集め、比較・検討して、分かりやすくまとめて発信するといった活動により、情報活用能力の育成を図ることができた。今後についても、1人1台端末環境を引き続き維持することが必要である。一方で、端末の起動時間や操作性、通信ネットワークとの円滑な接続や、故障の多さなどに課題がみられた。このことから、故障率の低く、操作性に優れ、可能な限り高性能な端末を選定し、十分に予備端末を各校に配備することとする。

3. 1人1台端末の利活用方策

1人1台端末が学習の用具として当たり前のように自由な発想で活用するためには、いつでも安定的に活用できるものであることが最重要事項だと考える。児童・生徒が自分で学び方を選択できる学習環境で、特性や理解度・進度に合わせて1人1台端末を活用し課題解決に取り組めるようにする。

さらに、学びの保障の視点から、不登校児童・生徒が1人1台端末を活用し、オンラインで授業に参加したり、課題に取り組んだりできるようにする。

また、校務系ネットワークと学習系ネットワークの円滑な連携を図ることにより、児童・生徒へのお知らせや保護者への通知などのデジタル化の推進や、個別最適な学びや協働的な学びを支援するためのソフトや、教育相談に関するソフトを活用してその充実を図る。